

## 人生の成功

2025. 4. 28

人生には、様々な逆境が待っている。その逆境の中で、「なぜ、こんなことが自分に起こったのか」と戸惑い、「どうしたら、ここから抜け出せるのか」と、もがき続けることがある。一つ一つの出来事には、それぞれ意味がある。その出来事の意味がわかったとき、また一つ成長した自分に会うことができる。

人生に果たして成功はあるのだろうか。世の中の多くの人々は、しばしば財産を築くことや地位や名声を得ることを人生の成功と考えている。自分は、どのような人生を生きたいのか。この問いを考えないままに歩いていくと、世の中の通俗的な人生の成功の定義によって自分の人生を判断してしまう。

自分自身にとっての人生の成功の意味は何か。そのことを考える前に、自分の個性というもの、つまり自分らしさとは何かを見いだしなければならない。ところが、日本では、受験教育や偏差値教育によって、子どもの頃から人との競争が求められる。そのような過程で、人との競争に勝つことが人生の成功につながるという考え方が刷り込まれていく。

そして、社会に出れば、そこにも勝ち組、負け組という言葉が溢れている。社会の生産性を上げるために、市場原理が導入され、競争が社会をよくするという競争原理の考え方が世の中に広く浸透している。

ここで、少し考えればわかることがある。誰もが勝者をめざす社会において、誰もが勝者になれるわけではない。むしろ、敗者のほうが圧倒的に多い。結局、他人との競争に勝つことが人生の成功だという考えには、多少とは言わず無理がある。

では、競争に敗れたとき、自らを支え、自らの人生を肯定できる考えとはどんなことか。それは、他人との競争に勝つことよりも、自分が掲げた目標を達成することを人生の成功とする考え方である。他人との戦いではなく、自分との戦いに意義を見いだす考えとも言える。このような考えを抱くとき、個性というものが輝いてくる。

人生において掲げる目標は多様である。その実現のために努力するとき、そこに、人生の喜びや生き甲斐が生まれてくる。以前、中学校に勤務していたとき、全校生の前で、「皆さんは、どのような人になりたいですか。どんな人生を歩んでいきたいですか」と問いかけてきた。中学生にとっては、むずかしい質問であろう。だが、中学生のうちから考えるべきことである。新年度最初の1か月が終わろうとしている。ここで、今一度、自分の目標というものを再確認するべきときである。